

快適なトロリーバス

常夏の甘い香りが風に乗って全身を包んでくれる。ホノルルの街をのんびり走ってくれるハワイ名物・ワイキキトロリーバス。カラフルにペイントされたボディーは南国ムードいっぱいの楽しいバスだ。日本でもバスは発展しているが、ここまで開放的に改造されたバスはない。それも左右共に窓側に向かって座るようになっていたため、観光客には写真を撮るにも観光するのも都合がよい。これも年間を通して温暖な気候がそうさせてくれるのだ。



以前ハワイに来た時にはこのようなバスは走っていなかった。ワイキキトロリーの運行開始は1986（昭和61）年4月からである。ロイヤルハワイアンSC、ホノルル動物園、ワイキキ水族館、アラモアナセンターを巡回するコースから始まった。その後は更にコースを増やし、観光目的から生活手段に至るまで5つのコースが組まれている。

基本的に乗り降り自由、乗り換え自由で街の至る所に停留所が設けられている。日本でもチケットを購入できるので、ワイキキ到着後はすぐに利用できるのが安心かつ便利だ。日本人にとって交通手段の主流は電車である。ハワイの鉄道といえばマウイ島の「さとうきび列車」が有名であるが、マウイ島では全て廃線になっている。しかし非営利団体「ハワイ鉄道協会」が1970年に設立され、毎日曜日の2回90分の鉄道ツアーが残されている。

州都・ホノルル、そして観光メッカ・ワイキキでは、交通便としてバスで移動するしか選択肢はない。しかしバスの長所は身近な所に停留所があることだ。私はハワイ到着後アロハタワー前からワイキキトロリーに乗り、宿泊ホテルまで利用させて頂いた。美しい街並みを見学しつつ爽やかな風を浴びての快適な乗り心地であった。

撮影 2010 年冬

